

江之島と鎌倉名勝



夏の湘南の海を題材にした J ポップの歌詞に、「エボシ岩」という名がしばしば登場します。この「エボシ岩」、神奈川県茅ヶ崎市の沖に実在し、大正 8 年(1919)に刊行された鳥瞰図『[江之島と鎌倉名勝](#)』にも描かれています。

『江之島と鎌倉名勝』は折本の形態をとり、表紙には吉田初三郎による弁財天や鎌倉大仏などが描かれています。鳥瞰図は両面刷りで片方の面が吉田初三郎による「江之島(江の島)」、もう片方が熊谷治純による「鎌倉名勝」となっています。

吉田初三郎は明治 17 年(1884)京都に生まれ、大正から昭和戦前期に観光案内の鳥瞰図を数多く手がけ、当館でも折りたたみ式に印刷された 270 点超を所蔵しています。

一方、熊谷治純は奥付に発行者としてその名があります。また、発行所は片瀬写真館とあり、現在も続く同館のホームページによると、熊谷治純は創業者で明治 23 年(1890)に生まれ、大正から昭和にかけて片瀬、江の島方面の絵葉書や案内書などを出版したとあります。

近代日本の風景を描いた吉田初三郎の鳥瞰図は数多くあり、当時の人々の感性を私たちに伝えてくれています。そして、鳥瞰図の発注者は一つ一つ異なるため、そこに込められた

想いも様々です。『江之島と鎌倉名勝』は約 100 年前に地元への想いを込めた当時 29 歳の熊谷治純と 35 歳の吉田初三郎の合作により生まれたものなのです。

【参考文献】

「[片瀬写真館の歴史](#)」（片瀬写真館ホームページ、2016.7.16 アクセス）

（2016 年 8 月 3 日公開）